

## 2. 2024年度事業実施状況

重要度(◎: 本年の重要な活動 ○: 重点対応項目 ・: 定常業務) ⇔ : マンパワーを投入する期間

実施項目	リガ	メンバー	重要度	スケジュール (月)												実施内容	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
(1) 大工道具及び建築関連資料の収集及び保管																	
① 大工道具など実物資料の収集																	
a) 実物資料の収集	坂本	学芸全員	・														随時実施
② 視聴覚資料の収集と保管																	
a) ビデオライブラリーの英語字幕化	河崎		・														優先度の高いものから順次整備
b) 「日光の彩色と金工展」関連映像作品(短編版)編集・製作	植村		○														彫刻刀鍛冶「左小信」の三角鑿、箱鑿の製作技術を記録する。
c) 映像作品「彫刻刀」製作	崔		○														
d) VHSテープ資料のDVD化	坂本		・														
③ 分類整理・保管																	
a) 収蔵庫の維持管理・整備	大村		・														棚、箱、備品購入、照明整備等
b) 資料データベースの整備	植村		○														道具・文献・映像・写真・論文データベースへの資料登録整備
(2) 大工道具及び建築関連資料等の展示及び公開																	
① 常設展示																	
a) 常設展示の保守管理	坂本	学芸全員	・														常設展示のメンテナンス(定常)
b) 常設展示の部分改装	坂本	学芸全員	・														40周年記念事業
c) 関連印刷物の発行	飯盛	中瀬、能見、事務局	・														図録、リーフレット、パンフレット、封筒等の印刷(随時)
② 企画展の準備と実施																	
a) 海外特別展(パリ)「L'art des charpentiers japonais」	西山		◎														2023/10/18~2024/01/27開催 運営、撤去、輸送を行う。
b) 「鮫台をつくる 東京における台屋の成立と発展」	赤尾		◎														2024/3/2~5/6開催 展示計画、広報、輸送、パントを行う。
c) 「日光の金工と彩色-社寺建築の美しさの謎を解く」	植村	坂本	◎														9月下旬~12月開催 展示、広報、輸送、運営、パントを行う。
d) 「第14回展る・くらべる-一脚展+ 2024特別展」	大村		・														9月開催 展示、広報、パントを行う。
e) 海外巡回展Japanitouse「KIGUMI」	西山		◎														2024/11月~2025/1月 LA展開催 実施設計・輸送・設置を行う。
f) ネパール ブッタスクール開校20周年写真展示	赤尾	河崎	○														2024/1/10~1/28開催 設置、撤去を行う
g) 企画展用備品の整備	坂本		・														随時実施
③ 企画展の中期的準備																	
a) 「建具解体新書 ほどく・くむ」	舟橋	学芸全員	・														2025年春開催予定、企画案検討
b) 「植物×匠」展(仮題)	崔	坂本	◎														2025年夏(科博)・秋(当館)にて開催、企画案検討
(3) 大工道具及び建築関連資料等に関する調査研究及び研究誌の発行																	
① 建築技術と道具に関する研究																	
a) 韓国	崔		○														韓国の大工道具研究の一貫として資料翻訳を行う。
b) ヨーロッパ	西山		○														フランスの大工道具研究、2025年3月に現地調査を行う。
c) 大工技術書	坂本		○														収集資料の読解。成果公表
d) 建築部材の加工技術(部材加工痕)	植村		○														大徳寺鑿復元製作と使用実験。成果公表
e) 大工・鍛冶への聞き取り調査	坂本	学芸全員	・														大工・鍛冶への聞き取り調査
f) 左官への聞き取り調査	西山		・														左官聞き取り調査の継続的実施
g) 情報収集活動ならびに研究者ネットワークの形成	坂本	学芸全員	・														情報収集・学会参加等
② 出版活動(研究成果の公開)																	
a) 研究紀要No. 35の発行およびNo. 36の準備	能見	学芸全員、事務局	・														2024年3月300部発行

実施項目	リダ	メンバー	重要度	スケジュール (月)												実施内容		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
(4) 教育、学術及び文化に関する普及及び支援活動	① 諸施設への協力	能見	広報T															資料貸出、会場提供、情報提供、博物館実習など
	a) 諸施設への協力																	
	② 教育・文化普及活動の実施	植村	学芸全員															年4回開催。7月は40周年記念講演会として開催。
	a) 開館40周年記念・原研哉講演会(「技と心」セミナーの開催)	久保	北村、能見															各種ワークショップの開催
	b) ワークショップの開催	北村	久保															学校向けプログラム、夏休み体験教室(8月)他 大朝(3+5分、5+5分、尺)の連入、活用
	c) 木工室の管理運営																	
	③ ボランティア活動の管理・運営	広報T	北村・久保															解説、WS、手入れなど各種活動を実施
	a) 運営管理	佐々木	河崎															
	b) 茶室運営管理																	
	(5) 竹中大工道具館の管理、運営(管理業務)	① 管理・運営一般																
a) 財務会計処理業務一般		佐々木	全職員															公益財団法人に合致した会計処理の実施
b) 入館受付、団体受付、展示説明他		飯盛	全職員															団体の受入れ日程と説明者設定の調整、実施
② 広報活動																		
a) 広報一般		広報T	飯盛、能見															館統計、広報発送管理・対応、新聞等広告手配
b) 広報印刷物の発行と送付		能見	学芸部															広報誌6月・12月3,000部・イベントチラシ3,000部(2回/年)
c) ウェブサイト・メールマガジンの維持・管理		能見	桂															ウェブページ更新・メールマガジン管理・SNS更新
③ ミュージアムショップの運営		中瀬	飯盛、事務局															グッズ開発・製作、販売、在庫管理
④ 茶室の維持・管理		佐々木	全職員															茶室管理、茶室特別公開(春秋)
⑤ 休憩室の維持・管理		佐々木	全職員															休憩室の清掃・維持管理
⑥ 館の情報インフラの強化・管理	桂	坂本、佐々木															情報セキュリティ強化、情報インフラの安定化、ホームページの拡充	
⑦ 理事会・評議員会、役員見学会の開催	河崎	佐々木、全職員															2-3月決算承認、11月事業計画・予算承認(役員合同見学会)	
⑧ 財団法人事業報告会への参画	河崎	佐々木、全職員															2024年3月報告会に向けて準備を行う	
⑨ 運営管理の改善と効率化	佐々木	全職員															運営コスト分析と削減、関連官公庁への申請・届出	

### 3. 2024 年度事業実施状況

#### (1) 大工道具及び建築関連資料の収集及び保管

##### ① 大工道具など実物資料の収集

###### a) 実物資料の収集

下記資料を収集した。

資料名	点数	入手先
玄能（長谷川幸三郎作）	2	平秀雄
鍛冶道具（左小信）	155	三上美代子
建具道具	7	丸地貞男
鋏、小刀（長谷川幸三郎関連）	3	大橋利人
チリ箒（左官道具）	35	久住章
大工道具他	341	松尾知浩
東照宮陽明門組物模型	1	鶴工舎、佐和漆工芸社、鈴木鋳金具工芸社（製作）
東照宮陽明門貫金具	1	鈴木鋳金具工芸社（製作）
計	545	

##### ② 視聴覚資料の収集と保管

###### a) ビデオライブラリーの英語字幕化

2018 年度より開始した計画の継続事業として、ビデオライブラリー映像資料のうち必要度と優先度の高いものを選別し、英語ナレーション版または字幕版の製作を予定していたが、企画展映像製作を優先し来年度に延期した。

###### b) 「日光の彩色と金工展」関連映像作品（短編版）編集・製作

企画展「日光の金工と彩色」開催にあわせ、①日光の建築漆、②日光の彩色、③日光の鋳金具、④縁付金箔製造についての 4 作品を既存映像より編集・製作した（テロップ日英併記とした）。

###### c) 映像作品「彫刻刀」製作

彫刻刀鍛冶「左小信」の三角鑿、箱鑿の製作工程（特に型の使い方）を記録する。

###### d) VHSテープ資料のDVD化

2023 年度より、VHS テープ資料の DVD 化（デジタル化）を進めている。今年度は約 200 点の DVD 化を予定していたが、都合により来年度に延期した。

映像資料名	点数	製作依頼先・入手先
研ぎ	1	Photo Studio K
鉋台の材料加工	1	向井万理
日光の建築漆	1	ウイング（企画展用として既存映像より編集）
日光の彩色	1	ウイング（ 〃 ）
日光の鋳金具	1	ウイング（ 〃 ）
縁付金箔 金沢伝統箔の技法	1	ウイング（ 〃 ）
計	6	

2024/1～2024/12 収集件数計 551点

### ③ 分類整理・保管

#### a) 収蔵庫の維持管理・整備

害虫燻蒸、温湿度管理、資料油拭き、収納器材購入等の定常管理業務を実施した。

#### b) 資料データベースの整備

資料管理業務の効率化を目的に、道具・文献・映像・写真・図書・論文資料のデジタル化・データベース化を継続的に推進中。今年度は新規収集資料の登録、写真撮影、登録番号記入、配架作業のほか、昨年度より継続実施してきた登録番号見直しに伴うエナメル番号修正作業を完了した。

## (2) 大工道具及び建築関連資料等の展示及び公開

### ① 常設展示

#### a) 常設展示の保守管理

常設展示における器具破損対応等の保守管理、道具の油拭きならびに借用品の賃借契約更新を随時実施した。

#### b) 常設展示の部分改装

開館 40 周年記念事業の一環として、展示解説（パネル、キャプションプレート、映像ナビ、オーディオガイド）の多言語化対応（従来の日英中（簡体字）韓に中（繁体字）仏独を追加）を実施。各展示キャプションに QR コードを追加してウェブ画面上の多言語解説を利用可能にした。併せて共用部照明器具、各所展示機材の更新を実施した。

#### c) 関連印刷物の発行

来館者用のリーフレット、企画展、ワークショップ等のイベントチラシ、企画展図録の印刷発行と増版を含む適正在庫量を確保した。また開館 40 周年記念事業の一環として、海外からの来館者サービス向上のため『常設展示解説』の英語（翻訳）冊子を作製中。

### ② 企画展の準備と実施

「世界における当館のブランド価値向上」を目指し、2024 年度から 2025 年度にかけては 40 周年記念事業として、海外巡回展、ユネスコ無形文化遺産関連企画展を開催。

#### a) 海外特別展（パリ）「L'art des charpentiers japonais」

フランス・パリ日本文化会館にて日本の大工技術と大工道具を紹介する展覧会「工匠たちの技と心 一日本の伝統木造建築を探る」を 2023 年度より継続して開催。

会場：パリ日本文化会館

会期：2023 年 10 月 18 日～2024 年 1 月 27 日（75 日間：来館者約 35,000 人）

#### b) 企画展「鉋台をつくる 東京における台屋の成立と発展」

明治から昭和にかけて、東京を中心に、専門職として活躍した鉋台打ち職人の技を紹介する展覧会を開催。

会場	会期	来場者
当館 1F 多目的ホール	3月2日（土）～5月19日（日）	11,277 人

（関連イベント）

名称	日時	会場	講師	参加人数
実演「台入れ」	3/23（土） 10:00～11:30／14:00～15:30	木工室	渡辺光雄	125 人 ※自由参加
座談会 「鉋台自作の時代」	3/24（日）13:30～15:00	KIITO	渡辺光雄 土田昇 加藤工匠	77 名

c) 開館 40 周年記念企画展「日光の彩色と金工一社寺建築の美しさの謎を解く」

「伝統建築工匠の技」のユネスコ無形文化遺産登録を記念して、17 の選定保存技術のうち、「建造物装飾」「建造物彩色」「建造物漆塗」「日本産漆生産・精製」「縁付金箔製造」の技術を、日光社寺の修理事業を通して紹介する展覧会を伝統建築工匠の会と共同にて開催。会場を①日光の漆塗と彩色、②浄法寺の漆掻き、③縁付金箔製造、④日光の金工の四ゾーン構成とし各製作材料、道具、工程見本、作品見本、映像等を展示した。象徴展示として新規製作した東照宮陽明門組物模型、および下神庫建築彫刻（重要文化財）は間近で見ることができ大変好評であった。あわせて製作した展覧会図録（A4・124P、3500 円）は会期中に完売し増版（500+300 部）。2025 年秋に東京国立博物館へ巡回予定。

会場	会期	来場者
当館 1F 多目的ホール	9 月 14 日(土)～12 月 15 日(日)	16,431 人

(関連イベント)

名称	日時	会場	講師	参加人数
講演会「日光の建造物装飾・漆塗と彩色」	8/4 (日) 13:30～15:00	1F ホール	佐藤則武	63
実演「日光の彩色・漆箔押し」	9 月 28 日(土)、29 日(日) 10:00～12:00、13:30～16:00 (29 日は 14:30 まで)	木工室	日光社寺文化財保存会	384
体験「伝統的な彩色技法で花文様を描く」	10 月 5 日(土) ①9:30～10:30 ②11:00～12:00 ③13:30～14:30 ④15:00～16:00	木工室	松村製箔所・日光社寺文化財保存会	38
ワークショップ「浄法寺塗でお椀をつくる」	11 月 9 日(土) ①10:00～12:00 ②13:30～15:30	木工室	滴生舎	10
ワークショップ「浄法寺塗でストラップをみがく」	11 月 10 日(日) ①10:00～11:15 ②13:00～14:15 ③14:45～16:00	木工室	日本うるし掻き技術保存会	13
実演・体験「鍔金具の彫金」	11 月 16 日(土) ①10:00～11:00 ②13:00～14:00	木工室	鈴木鍔金具工芸社	20

d) 「第 14 回座る・くらべる一脚展+2024 特別展」

兵庫県で活動する家具作家が過去一年以内に製作した新作の椅子を一脚ずつ展示する企画展を開催した。今年度のテーマは「チェアデザイン」。作り手側の眼と手が生む設計図やスケッチと共に実作を展示した。併せて世界の名作椅子を 5 分の 1 スケールで作る濱田由一氏による細部まで精巧に再現されたミニチュア椅子やその製作工程を紹介した。

会場	会期	来場者
当館 1F 多目的ホール	8 月 24 日(土)～9 月 8 日(日)	2,382 人

(関連イベント)

名称	日時	会場	講師	参加人数
セミナー「ミニチュアで語る名作椅子」	9/1①10:00～11:30 ②13:30～15:00	木工室	濱田由一	① 33 名 ② 34 名

e) 海外巡回展「JapanHouse」

開館 40 周年記念事業の一環として、外務省が主催する JAPAN HOUSE 巡回企画展第 6 期を実施中。2024 年 11 月～2025 年 1 月にロサンゼルス「Masters of Carpentry : Melding Forest, Skill and Spirit」展を開催。引き続き 2025 年 3 月～7 月にロンドン「The Craft of Carpentry : Drawing Life from Japan's Forest 木の命を汲む人」展、2025 年 11 月～2026 年 5 月にサンパウロ展（タイトル未定）を巡回予定。

会場：JAPAN HOUSE ロサンジェルス、JAPAN HOUSE ロンドン、JAPAN HOUSE サンパウロ  
会期：2024 年 9 月～2026 年 5 月予定

会場	会期	来場者
JapanHouse LosAngeles	2024年11月20日(水)～ 2025年1月22日(水)	23,200人

f) 「ネパール ブッダ・スクール開校 20 周年写真展示」

NPO 法人 AAF (Asian Architecture Friendship) が支援するネパール・フィルムズのブッダ・スクールの開校 20 周年を記念して東京 Gallery A4 と当館で写真展示を実施。

会場：当館 1F 多目的ホール

会期：1 月 10 日～1 月 28 日（東京：2023 年 12 月 1 日～14 日）

g) 企画展共通備品の整備

企画展および関連イベント開催に必要な備品（垂木用スポット照明器具、音響機器、サインスタンド等）を適宜購入した。

### ③ 企画展の中期的準備

a) 開館 40 周年記念企画展「建具解体新書 ほどく・くむ」

ユネスコ無形文化遺産「伝統建築工匠の技」に関連する特別展の第 2 弾として「建具製作」を取り上げ、2025 年春季に展覧会「建具解体新書 ほどく・くむ」（3 月 8 日～5 月 11 日、当館 1 F ホール）を開催する。本年度は伝統建具製作およびその修理についての資料調査、建具職人への聞き取り調査および借用許可手続きを実施し、企画案および展示計画の策定を進めている。

b) 開館 40 周年記念企画展「植物×匠」展（仮題）

ユネスコ無形文化遺産「伝統建築工匠の技」に関連する特別展の第 3 弾として「檜皮茸・柿茸」「茅茸」「檜皮採取」「茅採取」を取り上げ、植物学と建築学両方の視点から紹介する展覧会を国立科学博物館と共同で企画。本展は 2025 年 7 月より東京（国立科学博物館）で開催した後、秋に当館にて開催予定。本年度は関連調査を実施し、企画案作成を進めている。

## (3) 大工道具及び建築関連資料等に関する調査研究及び研究誌の発行

### ① 建築技術と道具に関する研究

a) 韓国

日本と深い関わりをもつ中国・韓国の木造建築と道具に関する調査研究を実施している。本年度は朝鮮時代の最後の宮大工と言われた裴喜漢氏の口述書『朝鮮木手(モックス)・裴喜漢の生涯、この朝鮮の鋸も錆びてしまった』の和訳を完了する。

b) ヨーロッパ

ヨーロッパの大工道具と建築技術に関する継続的研究を引き続き行う。本年度は特にフランスの規矩術 l'art de trait と巡歴修行システムに関連して、海外コーナーの常設展示の充実を図る展示品の現地調査及び打合せを行った。

- c) 大工技術書  
大工技術書「鎌倉造営名目」、「黒田宗信伝来文書」、「萬木碎」に関する読解研究を継続的に実施中。本年度は関連資料として「番匠用留」の翻刻作業を行った。
- d) 建築部材の加工技術（部材加工痕）  
古代～近世前半の部材加工技術の実態を明らかにすべく建築部材の加工痕研究を継続中。本年は解体修理中の国宝神谷神社本殿（香川県坂出市）加工痕調査を実施した。昨年実施した大徳寺発見鑿の X 線 CT 結果（研究紀要 35 号に掲載）を元に復元案を作成し、鑿鍛冶へ製作を依頼した。また、11 月に正倉院宝物木工品 14 件の接手調査に参加し、正倉院事務所へ報告を提出した。
- e) 大工・鍛冶への聞き取り調査  
名工と讃えられる大工や鍛冶を対象に、既往研究調査ならびに本人・関係者への聞き取り調査を、中期的課題として継続的に実施している。本年は建具解体新書展、植物×匠展の関連として建具職、屋根葺き職への聞き取り調査を実施した。
- f) 左官への聞き取り調査  
道具の名称と使用方法を中心に、左官職人と鋳鍛冶への聞き取り調査を実施している。本年は昨年からの継続として、久住章氏の磨き手法について鋳の形状と壁仕様の変遷をまとめる。
- g) 情報収集活動ならびに研究者ネットワークの形成  
道具と建築に関する情報収集を行う。現地調査、学会参加、博物館視察、出版物収集などを随時実施。また必要に応じて館外学識者との勉強会を適宜開催し、研究ネットワークの構築と館職員の知識向上を図る。

## ② 出版活動（研究成果の公開）

- a) 研究紀要 No. 35 の発行および No. 36 の準備  
調査研究成果の公開を目的として研究紀要 No. 35 を 3 月 20 日に発行（250 部）、学術電子ジャーナルサイト「J-STAGE」に掲載した。掲載内容は下表のとおりである。また No. 36（3 月発行）に向けて原稿執筆を行った。

著者	題名
坂本忠規・松本始・本弓省吾	鳥羽・青峯山正福寺と大工・中村九蔵の活動
植村昌子	大徳寺方丈発見鑿の調査について

## （４）教育、学術及び文化に関する普及及び支援活動

### ① 諸施設への協力

- a) 諸施設への協力  
各種学校、博物館、研究機関、職人団体等に対して下記の協力を実施した。

#### ア) 実物資料貸出（４件）

貸出先	使用目的	貸出期間	資料名
株式会社竹中工務店大阪本店	グランフロントナレッジキャピタル春のワークショップフェス 2024	3/22～3/26	積木
株式会社竹中工務店大阪本店	グランフロントナレッジキャピタル夏のワークショップフェス 2024	7/26～7/30	積木

岐阜県県民文化局 文化伝承課 伝統文化係	「清流の国ぎふ」2024 文化祭「匠の国ぎふ」を支える道具展	10/14～11/24	海外の大工道具 25 点
株式会社竹中工務店大阪本店	イケフェス大阪 2024 での御堂ビルスペシャル企画	10/25～10/29	積木・ジョイントマット一式

イ) 画像・映像貸出 (4 件)

貸出先	使用目的/掲載紙	掲載期間	資料名
滑川市立博物館友の会	「滑川市立博物館友の会 40 周年の集い」開催案内文	1 月下旬以降に滑川市立博物館友の会会員 (約 150 名) へ送付	画像 1 点: 「井波彫刻 物語を彫る」展図録より彫刻欄間「玉堂富貴」(部分)
吉田製材株式会社	大和さくらい万葉まつり内「木のまちストリート」の特別展示として製材の「打ち割り」を紹介。	9 月 22 日	画像 3 点: 展示室壁面イラスト「荒く製材する」「部材に仕上げる」、常設展示図録より古代の打割製材を検証する実験
三木市総務部市史編さん室	『新三木市史』第七巻 資料編 文化遺産	2025 年 3 月 31 日刊行予定	画像 1 点: 竹中大工道具館 2017 年企画展「削る 鉋の世界」より鉋刃鍛造 C
株式会社東京映像グループホールディングス	テレビ東京「世界! 職人ワゴン」	放送日: 12 月 30 日	画像 1 点: 展示室壁面イラスト「荒く製材する」

ウ) 講師派遣 (5 件)

派遣先	講演名称	開催日	講師
浜松建築業協会	大工道具の歴史と工匠の技	7/27	赤尾建藏
TDK 市川テクニカルセンター	未来へ伝えたい匠の技と心	9/9	河崎敦子
大和大学	ものづくりの日本建築史	11/29	坂本忠規
近畿大学	ものづくりの近代建築史	12/2	坂本忠規
歴史街道	伝統的木造建築における工匠に技	12/13	赤尾建藏

エ) 博物館実習受入 (4 校)

依頼先	期間	人数	内容
神戸女子大学、札幌市立大学、甲南大学、京都芸術大学	8/21、8/28～30、9/4	5	博物館実習 (5 日間)

オ) 削ろう会への協力

職人の技能を競う競技団体「削ろう会」への支援を継続的に実施している。本年度は第 5 回北海道削ろう会交流大会へ講師派遣を行い、鉋および鑿の調整講習を実施した。第 40 回全国削ろう会秦野大会では、競技参加の久保技能員が、薄削り部門予選一位、決勝二位の成績を収める。「削ろう会会報」に連載として寄稿 (4 回/年) している (久保技能員)。

会場	期間	講師	参加人数
第 5 回 北海道削ろう会交流大会	6/29	久保正幸	約 80
第 40 回 全国削ろう会秦野大会	11/9.10	久保正幸	約 400

## ② 教育・文化普及活動の実施

### a) 開館40周年記念・原研哉講演会（「技と心」セミナーの開催）

館外学識者を講師に、開館40周年記念として下記内容で開催した。

会場	開催日	題名	講師	参加人数
当館1Fホール	6/16	いかに知らなかったかに目覚めていく ー未来資源としての日本	(株)日本デザインセンター 代表取締役社長 原 研哉	181人

### b) ワークショップの開催

木工室でのワークショップ等館内でのイベントをコロナ前の水準を目標に実施した。「ちょこっと木工」（工作ワークショップ、土日祝日）、大工による鉋削り体験（月1回程度）、大工道具にチャレンジ（月1回程度）、春休み・夏休み子ども体験教室等を開催した。また開館40周年記念イベントや春・秋に茶室棟の特別公開（呈茶含む）を実施した。

#### ア) 木工イベント（33件 延約5,100名）

プログラム名	実施日数/実施日	講師	参加人数
大工道具にチャレンジ！	3/30・31、5/3～6、7/27・28、8/11・12、10/12・13	北村智則（技能員）、久保正幸（技能員）、後藤雅宏、黒岩絵里子、当館ボランティア	約1,600
大工と一緒に鉋削りに挑戦！	1/8、1/10(PM)、2/10・11、2/21(AM)、3/24、3/27・28、7/3、7/13・14、6/29、8/14、9/4、9/14・15、10/2(PM)、10/23(PM)、11/13(PM)、11/23・24	北村智則、久保正幸、当館ボランティア	約2,000
ちょこっと木工	43回	北村智則、久保正幸、後藤雅宏、黒岩絵里子、当館ボランティア	679
WS「組み木・立体パズル」	1/6・7、4/29、7/15、8/31、11/4	北村智則、久保正幸	33
刃物研ぎ教室	1/18	北村智則、久保正幸	7
刃物研ぎ教室Plus（全2回）	1/20～21、9/21～22	北村智則、久保正幸	16
WS「南京鉋を学ぼう」（全2回）	2/1～2	大久保公太郎	11
WS「木べらをつくろう」	2/3	大久保公太郎	10
積み木と木のたまプールの遊ぼう！	2/10～12、7/6・7	大村都、能見雅子、当館ボランティア	250
WS「我谷盆をつくろう」	2/17・18	北村智則、久保正幸、後藤雅宏	16
WS「ミニツールをつくろう」	2/23・24、4/13・14、6/8・9、8/24・25、10/26・27	北村智則、久保正幸、後藤雅宏、黒岩絵里子	49
包丁研ぎ教室	2/28・29、12/18・19	北村智則、久保正幸	56
WS「角皿をつくろう」	3/2・3	北村智則、久保正幸、後藤雅宏	20
大人のための木工教室・角材編（全6回）	3/6～8、3/13～15	北村智則、久保正幸	5
WS「組み木・立体パズル上級編」	3/20	久保正幸	5
WS「組み木・こいのぼり」	4/5・6	北村智則	11
WS「おはしとはし置きをつくろう」	4/27・28、8/3・4	北村智則、久保正幸	39

WS「オーバルボックス&キャリアをつくろう」(全2回)	5/18・19, 5/25・26	宇納正幸	20
WS ケーキ皿とフォークをつくろう	6/21・22	後藤雅宏	16
夏休みこども体験教室「リユールシロフォン」	7/24	久保正幸	16
開館40周年記念イベント 子ども棟上げ体験	7/27・28	久保正幸、当館ボランティア	38
夏休みこども体験教室「えんぴつ立て」	7/31	久保正幸	16
夏休みこども体験教室「ロボホースペシャルデー」	8/7	いろは、大村都	20
夏休みこども体験教室「DIYこども工作教室」	8/9	日本DIY・ホームセンター協会	39
夏休みこども体験教室「大工道具箱」	8/16・17	北村智則	16
夏休みこども体験教室「イス」	8/22・23	北村智則・久保正幸	14
天然仕上げ砥石を体験する研ぎ教室	9/20	北村智則、久保正幸	4
大人のための木工教室・板材編(全6回)	10/9～11, 10/16～18	北村智則、久保正幸	5
WS「パン皿をつくろう」	10/19・20	後藤雅宏	24
WS「grab stoolをつくろう」	11/2・3	山極博史	15
WS「組み木・クリスマス」	11/30, 2/1	北村智則、久保正幸	11
WS「足ふみロクロで器を挽こう」	12/7・8	原功	12
WS「組み木・干支」	12/14・15	北村智則、久保正幸	12

#### イ) 学校向けプログラム

学校団体の見学受入れおよび教員研修を実施した。また下記に加え、小・中学校の班別自由見学(22校)の受け入れを行った。

学校名	内容	実施日	参加人数
兵庫県立森林大学校	常設展及び茶室棟解説、鉋削り体験	2/6	10
立命館守山高等学校	常設展示解説	2/15	24
湊湘南中学校支援学級	常設展示解説、鉋削り体験	6/18	18
神戸市技術実技研修会	教員研修：大工道具の使用法研修	8/2	9
友生支援学校中学部	「六甲山の木のたまご」製作 トライやるウィークの一環として受け入れ	10/2	11
菅の台小学校3年生	常設展示解説、鉋削り体験	10/23	33
西日本私立小学校連合会	教員研修：常設展示解説、大工道具の使用 方法研修及びブックエンド製作	11/6	35
兵庫県高等学校教育研究会美術・工芸部会	教員研修：常設展示解説、刃物研ぎ	12/25	10

ウ) 茶室公開

春、秋季の特別公開では、茶室見学ツアー（当日先着順・各回定員 10 名）および呈茶（事前申込制・各回先着 10 名）を実施した。

内容	実施日	人数（ツアー）	人数（呈茶）
春季特別公開	4/20・21, 5/25・26	181	93
秋季特別公開	10/19・20, 11/23・24	212	99

c) 木工室の管理・運営

木工室を管理運営するために必要な消耗品・道具・機械等を整備した。主な購入品は下記の通り（消耗品は除く）。

用途	品名	数量
技術研鑽	一尺鉋（330mm）	1
削り体験	五寸五分鉋（165mm）	1
削り体験	三寸五分鉋（105mm）	1

### ③ ボランティア活動の管理・運営

a) 運営管理

大工道具に関心ある希望者をボランティアスタッフとして受け入れ、(1)館蔵品の手入れや整理等の補助、(2)常設展示の展示解説、(3)館内プログラムの運営およびその補助、(4)アウトリーチ活動補助等に携わってもらっている。今年は新たに7名のワークショップボランティアを受入れた。これら活動の管理運営ならびに、スキルアップのための研修会・見学会等を随時実施した。

内容	実施日	参加者
ボランティア事務局会議	1, 3, 5, 7, 9, 11, 12月各1回	ボランティア事務局員
ボランティア勉強会	5月、9月 各1回	赤尾建藏他職員、ボランティア
ボランティア見学会（神戸ゴルフ倶楽部、ヴォーリズ六甲山荘、ジェームス邸）	11/18	赤尾建藏他職員、ボランティア、竹中工務店松隈章氏
新規ボランティア向け研修会	3～6月 計14回	北村智則、久保正幸
拭き漆勉強会	6/25	北村智則、ボランティア有志
日本建築史勉強会	不定期	ボランティア有志
誉め合い作品展（ボランティアの制作物の展示）	毎月	ボランティア有志

b) 茶道運営管理

館内の茶道イベントに対する補助を目的として竹中工務店茶道部がボランティアスタッフとして参加している。これに付随する稽古費の支払い、消耗品の購入等の運営管理を実施した。

## (5) 竹中大工道具館の管理・運営（管理業務）

### ① 管理・運営一般

a) 財務会計処理業務一般

本館活動のための資金運用を含めた財務会計処理業務を適正且つ着実に実施した。

b) 入館受付、団体受付、展示説明他

団体の来館見学受入れ、予約受付方法の改善、解説希望グループ向け対応者の調整を着実に進めた。個人来館者、外国人来館者に対しても解説ボランティア対応や音声ガイ

ド活用等により満足される対応を行った。外国人来館者が増えてきたことを鑑み、現在子どもへ配布しているワークシート（ビンゴ）の英語版を作成した。人気の「ちょこつと木工」受付業務をスムーズに行い、インバウンド対応への改善も引き続き実施した。

## ② 広報活動

### a) 広報一般

各種広報媒体へ企画展やイベント活動等を含めた情報提供を積極的に展開し、広報後の礼状送付などアフターケアを含め継続して報道してもらえるよう努めた。また、懇意の広報媒体へはプレスリリースをメール送信し、博物館関連機関やイベント案内サイトを積極的に活用して郵送費削減に努めた。

### b) 広報印刷物の発行と送付

広報誌「竹中大工道具館 NEWS」を「ドウグバコ」に名称変更し、広報誌の刷新を行った。また製本にも配慮し、環境に優しい糸こよりを使用した。当館の最新情報およびイベント案内を掲載した広報誌「ドウグバコ」（年2回発行、作成部数6月・12月：3,000部）と「イベントカレンダー」（年2回発行、作成部数6月・12月：3,000部）を発行し、関連施設、来館者などに配布ならびに発送した。また、関係名簿の見直しを図ることにより印刷物等発送費の削減に取り組んだ。

### c) ウェブサイト・メールマガジンの維持・管理

広報活動の一環として、一般向けにウェブサイトの定期的更新および企画用特設サイトの構築、メールマガジンの定期発行（隔月年4回を行った。また、YouTube（チャンネル登録者数57,166人、12/31時点）に映像7点を公開し、SNSでの投稿回数増加とともに、外国人向けに英語対応（字幕等）を充実させた。また、ウェブサイトについては大幅なリニューアルを行い、中国語（繁体字）・韓国語・フランス語・ドイツ語の4言語ページも追加した。（現在、計6か国、7言語）

YouTube 公開内容	点数	総視聴回数（12/31時点）
「鉋台をつくる」展会場映像 短縮版	1	2,215
「鉋台をつくる—東京における台屋の成立と発展」会場映像	1	3,569
開館40周年記念講演会・原研哉「いかに知らなかったかに目覚めていく—未来資源としての日本」映像 *YouTube字幕設定：英語入り	1	2,472
「日光の彩色と金工」展会場映像	1	1,290
『木組みの家 大工 阿保昭則の家づくり 長編版』日本語字幕・バリアフリー字幕入り	1	10,956
『Kigumi House Carpenter Akinori Abo: Building House』 Long Version / English Subtitle	1	94,826
「日光の彩色と金工」展講演会「日光の建造物装飾・漆塗と彩色/Decorating Nikko's Structures: Urushi & Coloring」映像 *YouTube字幕設定：英語作業中	1	1,225

## ③ ミュージアムショップの運営

来場者サービスの一環として「木」「道具」をコンセプトにミュージアムショップを運営している。2024年は開館40周年記念として、新グッズ7種を（オリジナル5種、既製品2種）企画、販売した。

次年からも引き続き、購入者の嗜好を検討しながら、当館のイメージ向上につながる新商品の開発を生産者と連携しながら進めた。

## ④ 茶室の維持・管理

敷地内の茶室を適切に維持管理し、春（4/20・21、5/25・26）、秋（10/19・20、11/23・24）に特別公開を実施した。呈茶も再開した。

⑤ **休憩室の維持・管理**

定期的なイス、テーブル等什器の清掃・消毒・メンテナンスに努め、休憩室を適切に維持管理を行った。  
来館者が庭園を見ながらほっとひと息つける心地よい休憩場所を提供した。

⑥ **館の情報インフラの強化・管理**

運営に必要な作業環境および情報インフラの更なる充実とセキュリティ強化を図るとともに、特に情報発信の手段としてメインとなるホームページの充実及び多言語化対応を図りユーザーの利便性を向上させた。

⑦ **理事会・評議員会、役員見学会の開催**

決算の定時理事会（2024年2月16日）及び定時評議員会（2024年3月8日）、また次年度の事業計画・予算の定時理事会及び役員見学会（役員全員）（2024年11月29日）を開催した。また、理事長、常務理事選任のみなし理事会（2024年3月25日）を実施した。

⑧ **財団法人事業報告会への参画**

（公財）竹中育英会、（公財）ギャラリーエークウッドと共に出席し、本館の事業の進捗などについて報告会を行った（2024年3月11日）また、運営上の情報交換さらには企画展の共同開催についても情報交換会（2024年10月21日）を行った。

⑨ **運営管理の改善と効率化**

館の運営に係る管理費（固定経費）をより精度よく把握するとともに、事業費（変動費）の予実管理の充実を図ると共に効率よい運営を推進した。